「全件通報」初の逮捕

県警 26歳男、詐欺未遂容疑

息子を装って高齢の女性から現金をだまし取ろうとしたとして、県警捜査2課と生活安全総務課、北方署は24日、詐欺未遂の疑いで、自称静岡県清水町、アルバイト須藤広之容疑者(26)を逮捕した。県警は10月13日から県内の全金融機関に要請して「全件通報」制度を導入。この制度をきっかけとした初めての逮捕となった。

逮捕容疑は、共謀者と24日午後1時30分ごろ、本巣郡北方町の無職女性(80)に電話で「財布や携帯電話、会社の書類をなくした」などとうそを言い、300万円をだまし取ろうとした疑い。

県警によると、女性は西濃信用金庫北方支店(同町)を訪れ定期預金を解約しようとしたが、職員が制度に基づき北方署に通報。捜査員が話を聞き、女性がだまされていることが分かった。その後、女性に同行した捜査員が、女性の自宅近くで捜査員を見て逃走する須藤容疑者を発見、約400メートル追い掛けて確保した。容疑を認めているという。

県警によると24日までに795件の通報があり、11件で被害を未然に防いだ。防止額は約2300万円。

無断複製・転載を禁じます